

未来をつくる教育フォーラム2018 報告 ～地域（ローカル）から創造する生涯の学び～



2018年10月14日（日）開催

於：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

主催：株式会社日本コスモトピア

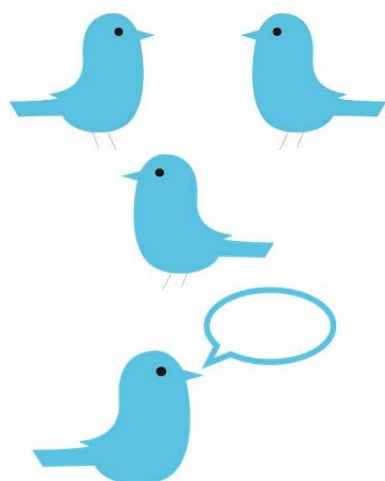
協賛：相田化学工業株式会社

協力：株式会社出版ワークス

SOLO GROUP株式会社

企画・運営：株式会社Live Innovation

未来をつくる教育フォーラム



共有する

考える

発信する



未来をつくる教育フォーラム2018 開催報告

2030年に豊かな社会を実現する教育をテーマに、10月14日（日）御茶ノ水ソラシティにて「未来をつくる教育フォーラム2018」を開催いたしました。

学校や学習塾など教育関係者、子育て中の保護者など総勢250名以上の方々にご参加いただき、おかげさまでフォーラムは大盛況のうちに無事終わることができました。

本年は、「地域（ローカル）から創造する生涯の学び」をテーマに、地域での取り組みを取り上げ、一生涯をかけての学び「ライフロングラーニング（生涯の学び）」はどのように実現されるのか、理解を深めていく場として開催いたしました。

セミナー 未来をつくる教育を探る

■ 大阪の公立高校で実現されたグローバルに活躍する人を育てる仕組み

大阪府立箕面高校前校長 日野田 直彦氏



『なぜ「偏差値50の公立高校」が世界のトップ大学から注目されるようになったのか！？』で話題の著者にお越しいただき、大阪という「ローカル」から、いかに「グローバル」に活躍する人材を育てる仕組みを作ったのか、その具体的な取り組みをお話いただきました。

大阪府立箕面高校校長着任後、生徒主体の授業改革やグローバル科の新設、英語スコア型検定の導入などを行われました。その結果、海外有名大学への進学者を多く輩出するまでに。

当時の業務命令は1個だけ。「チャレンジしてください。」

マインドセットの重要性や積極的に社会課題を解決しようとする姿勢が大事であることを強調しておられました。

■ 沖縄の地域性に適応した学びを探究した先にあった「キャリア教育」

キャリア教育コーディネーター 翁長 有希氏

平成17年に沖縄県内の人材育成事業を行う会社にキャリア教育事業担当者として入社以来、10年以上 沖縄県内小・中・高・大学のキャリア教育支援に関わられてきた翁長氏。小学校・高等学校の教職員に対し、キャリア教育の魅力や必要性を伝えてきた経験を基に、沖縄ならではのキャリア教育の具体的な取り組みや事例についてお話いただきました。

「那覇市では小1からおてつだいを題材にキャリア教育を行い、職業観の第1ステップを育てている。勉強が社会とつながっていることを実感することで学習意欲が生まれる。社会変化の中で課題を見つけ、経済活動の中で解決できる人材を育てることが目標です。」と話されました。



■ 信州のプログラミング教育を牽引する人材を育む「デザインフェロー養成プログラム」とフェローの現場実践」



長野県教育委員会 松坂 真吾氏

伊那市立伊那東小学校教諭 田中 愛氏

昨年のフォーラムにおいて、MIT メディアラボ博士研究員の村井裕実子氏より、プログラミング教育の基盤の考え方である『クリエイティブ・ラーニング』についてご講演とワークショップを開催し、大好評を博しました。今年度、村井氏が公立学校の教員の方に向けて、「クリエイティブ・ラーニング」を学び、実践し、共有し合いながら学ぶプログラムを、長野県教育委員会と一緒に

『デザインフェロー養成プログラム』として実施されました。

そのプログラムの設計や取りまとめをされていた松坂真吾氏と、プログラムの参加者である伊那東小学校の田中愛氏にお越しいただき、プログラム実施までの道のりと、その事例を発表していただきました。

相田化学工業presents 第3回子ども白熱会議

台本なしのぶっつけ本番！これからの未来を担う子どもたちが、自らの意見を表現するだけでなく、議論を通し「共にアイデアを創る力」を養う学びの機会として、「子ども白熱会議」を今年も実施しました。今回のモデレーターは、公募で選ばれた沖縄の現役高校生・仲地心乃さん。そして、事前選考で選ばれた5名が壇上に登り、「気になる・どうにかしたい身近にある問題」について自らが思うことを自分の言葉で話し合いました。今回の白熱会議は子どもたちの活動を応援してくださっている相田化学工業株式会社様のご協賛をいただき、開催いたしました。



「身近な問題」については「ゲームにはまりすぎている人が多い」「公園に人があまり来ない」「（歩きスマホなどによる）信号無視が多い」「高齢化問題」などの話題が出ました。ゲームの問題の解決法としては「ゲームよりも楽しいことを見つけ、いろんな体験をする」という意見が出ました。少子高齢化による就業人口の減少についても「働く人がいなくなると会社がつぶれてしまう」というきちんとした問題意識も持っています。



将来の夢を聞くと、獣医、モデル、宇宙飛行士、農業、さらにはロボットをプログラミングしての介護支援など、どの子も「人の役に立ちたい」という強い思いを持っていることがわかりました。「ちゃんとした社会人とは？」「何のために働くのだろう？」というテーマでは「お金をかせぐため」「生活のため」「日本をよくするため」さらには「自分を育ててくれた親へ恩返しするため」という意見が出て、会場から拍手の渦が沸き起こりました。

最後には「みんなが希望をもてる」「安心して暮らせる」「笑顔で暮らせる」社会を作っていこうという結論に達し、第3回子ども白熱会議は終了しました。



マルチステークホルダー・パネルディスカッション

教育に携わる各方面のゲストをお招きし、新しい教育の形の必要性と、求められる人物像を多方向から議論しました。本年度のテーマは「地域から創造する生涯の学び」。各地域で挑戦されている公教育、私教育、生涯教育など多方面からゲストを招き、多角的な議論を展開しました。



日野田直彦氏
武蔵野女子学院中学校・高等学校 学校 学校長
大阪府立箕面高校前校長



石川由美子氏
北名古屋市教育局生涯学習課
教育支援活動コーディネーター



松山達也氏
学習塾 マナビオ代表



小野寺愛氏
一般社団法人そっか共同代表



光峰ルーク氏
SOLO GROUP株式会社
執行役員



モデレーター 下向峰子
日本コスモトピア
代表取締役社長

それぞれの立場での取り組みをご紹介していただき、そこから議論が繰り広げられました。

・「学校と塾との融合」について

松山氏「学校ではできないことを子どもに体験させたくて、塾に通わせる保護者の方が多いと感じる」

石川氏「例えばプログラミングなどで、外部の技術者と協働することにより、学校と塾との融合を進めていきたい」

光峰氏「日本の子どもたちは時間を奪われている。時間があればもっといろいろなことを体験できる」

小野寺氏「学校の勉強が苦手でも、ローカルでの活動では力を発揮する子どもがいる。ローカルでの活動を通じて学校との連携も始まっている」

日野田氏「学校の先生は日々の仕事を減らし、塾に限らず民間の団体とコラボして共に利益や信用を得ていくことが大切である」

- ・「豊かで幸せに過ごすためには生涯の学びが必要である」
- ・「ローカルでの活動で徹底的に遊びながら学んでいくことが、グローバル化につながる」

最後にモデレーターが「この議論をここで終わらせずに次へ繋げることが私たちの使命。ローカルからグローバルへ、1人1人の動きが未来をつくる教育のための大きな動きへとつながっています」と締めくくりました。



ワークショップ



IT未来づくりワークショップ

～ITに遊びを通して触れ、未来を描き出す～

新しい技術が実際にどのように社会に活かされていくのかを学ぶ。

VRやドローン、ロボットアームなどを実際に触ることでITの進化を実感し、未来の生活を想像する。

小学生向け ワークショップ



ノーブスミーのしかけ絵本作りワークショップ

～じぶんだけの“しかけ絵本”をつくろう！～

自分だけの絵本を完成させることで、空間認識能力や論理力を養う。終わってからも「もっとやりたい」とさらに描き込んでいる子もいて、おおいに創作意欲が刺激されたようだった。



ミライ創造対話ワークショップ

～今から50年後の未来を創造しよう～

携帯電話の目覚ましい進化を知り、50年後の携帯電話を想像し、発表し合う。
少し先の未来を創造し、皆で対話をする中で、未来には様々な可能性があることを学び、想像力を養う。



エディブル・スクールヤードの「食べられる授業」

～おいしい！はどこで感じているんだろう？～

りんごをゆっくり味を感じながら食べ、味の違いに気づく。普段何気なく食べている食物を知ること、多様な角度で物事をみる感性を養う。



教育版マイクラフトで作る未来の街

～自分たちが住みたい未来の街を作ろう！～

1人1台のPCで教育用マイクラフトにログインし、4人は同じ世界で行動する。子どもたちは自分で考えてマイクラフトの世界で自由に動き回り、テーマ別の活動を行うのが楽しそうな様子だった。

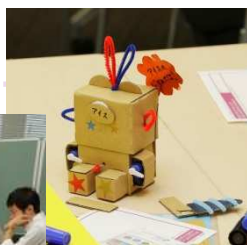
別会場にて、これからの時代に必要な能力を育む教育アプローチを探るワークショップが開かれました。大人も子どもも生き生きとした様子で参加されていました。定員数を超え立見の見学者が出たワークショップもあり、参加者それぞれが新しい教育の形に興味を持ち取り組んでいた姿が印象的でした。

小学生～大人向け ワークショップ



ドローン操縦を iPad でかんたんコードプログラミング ～未来のプチ物流体験～

ドローンをiPadでプログラミングして動かしてみる。
難しく感じたプログラムを理解し、実行してみたとき・失敗したとき・最終的に上手くいったとき、参加者の表情が「わかった!」「やってみたい!」「なぜ?」「できた!」とそれぞれに変化し、充実感が伝わってきた。



クリエイティブ・ラーニング

～ロボットをプログラミングしてみよう～

ダンボールの体に手を動かすモーターが入ったembotというロボットを2人1組でデコレーション+プログラミングしていく。幅広い年齢層の参加者がフラットな関係で楽しそうに創作し、発表しあっていたのが印象的だった。



Social Emotional Learning 体験ワークショップ ～「非認知能力」を育むSELを体感してみよう～

欧米諸国で実践されている、SEL(Social Emotional Learning)、社会性・感情の教育のアプローチを体感する。
ペアで話し合い“ノンジャッジメント”になって自分の感情を理解し、気づいていくワークを行う。また、実践されている具体的なプログラムにも触れ、SELの理解を深めた。



フィンランド式・人生の道を描く ワークショップ by Elämä

～「わたし」の豊かで幸せな生き方を見つける～

自分の生き方をワークシートに書き込むことで、自分と向き合い、「豊かで幸せな生き方」を探る。
余暇を大事にするフィンランドの人々の暮らしを学び、バランスのある暮らしについて考える。



大人向けワークショップ

ベビーキャリア教育

～子どもの自立をどのようにサポートするかを考える～

キャリア教育とは、子ども・若者を「自分の能力を最大限活かし、社会で活躍できる人材」に育てる教育。
生活の中にある子ども自身の発見によって、発信力・主体性・「自信の種・主体性の種・自己決定の種」を育てる。



〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-9-28
TEL : 06-6390-2100
<https://www.cosmotopia.co.jp/>